

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金支出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等

【事業概要】

現状と課題	国の診療報酬改定による影響や、市民病院機構が地域医療を充実させるため実施する事業に対しても、柔軟に対応していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供する。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,741,002 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,741,002 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	005 地方独立行政法人運営費負担金支出事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,772,215 千円	1,897,588 千円	1,741,002 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成28年7月に開院した加古川中央市民病院は、現在順調に経営しており、自立経営が図られている。ただし、公的病院として救急医療や高度医療等を安定的に提供できる体制を維持するためには、不採算経費等に対する運営費負担金の支出は必要であると考えます。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運営費負担金支出率	%	100	100	100
出資金額	千円	0	0	0
運営費負担金支出額	千円	1,772,215	1,897,588	1,741,002
活動指標分析結果	法人の経営健全化を図り、公的病院として安定した医療を提供するため、法人に対し運営費負担金を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
市民病院開院日数（2次救急医療施設）	日	366	365	365	令和4年度	365
入院受入体制確保日数（高度医療）	日	366	365	365	令和4年度	365
医師数	人	242	263	261	令和4年度	262
成果指標分析結果	不採算経費や高度医療機器等に対する運営費負担金の支出により、法人の経営健全化や設備の高度化が図られ、救急医療及び高度医療を安定的に提供できる体制を確保するとともに、コロナ禍においても診療を止めることなく公的病院の責任を果たしている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	平成22年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条

【事業概要】

現状と課題	病院事業については、市が設立した法人に事業を担わせることで、より効果的・効率的なサービスの提供を目指している。専門的知識や豊富な経験を持つ評価委員からの意見をもらうことで、中期目標等の達成や透明性の高い法人運営を確保する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	法人が定めた目標を確実に達成できるよう、目標管理を適正に実施するため、地方独立行政法人法第11条に基づき市長の附属機関として設置された評価委員会の運営を効率的に実施する。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市が法人に対する適正な決定を行えるよう、地方独立行政法人法等で定められている地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の所掌事務（業務実績評価への意見など）について、委員会での審議を活性化させ、様々な視点から意見をもらう。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	669千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	669千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	006 地方独立行政法人評価委員会運営事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	441千円	1,035千円	669千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価委員会の設置は法定化されており、法人が適正に目標管理を行う上で重要な役割を担っていることから、委員会の運営を効率的に行うことは、事業の目的の実現に有効である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会委員	人	5	5	5

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
評価委員会委員への説明実施回数	回	9	19	9
評価委員会開催回数	回	4	7	5
活動指標分析結果	令和2年度は、中期目標・中期計画の策定や第2期中期計画の暫定評価など審議事項が多かったが、令和3年度は中期計画の評価および年度評価が主であり、例年並みの実施回数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
年度評価に対する評価委員会意見数	件	124	109	85	令和4年度	85
年度評価に対する評価委員会開催回数	回	3	2	3	令和4年度	3
成果指標分析結果	当年度も法人の業務実績に対して、事前に委員へ書面での意見を求めつつ審議を行ったため、多くの意見を引き出すことができた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	骨髄等移植ドナー支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	令和3年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	白血病等の移植はドナーの善意に基づいており休業補償がない場合もある。移植には8日程度を要し、経済的な負担により提供を断念する人もいるため、補助制度を利用し負担を軽減する必要がある。また、ドナー登録者を増やすため、市役所前献血と併せてドナー登録会を実施する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	骨髄等の提供に係るドナーの身体的、精神的及び経済的な負担の軽減を図り、移植の推進及びドナー登録者の増加を図る。
対象 ※誰、何に対して	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	骨髄等の提供に係る通院、入院又は面談の日数に応じて補助金を支出する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	140千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	70千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	70千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	065 骨髄等移植ドナー支援事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	140千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	骨髄等提供者の負担軽減を図ることにより、ドナー登録や骨髄等移植の推進に寄与することができるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	骨髄等移植ドナー支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録可能人口(10/1付住民基本台帳)	人	0	0	117,758
提供可能人口(10/1付住民基本台帳)	人	0	0	115,175

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ドナー登録会開催回数	回	0	0	3
活動指標分析結果	市役所前定期献血と同時開催のドナー登録会を3回実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
ドナー登録者数	人	0	0	19	令和4年度	20
補助金交付決定者数	人	0	0	1	令和4年度	3
成果指標分析結果	各登録会で平均6名程度の方がドナー登録を行った。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療の充実
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センター（R3.10まで）、東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）を管理及び運営する協会の運営を安定化させ、夜間及び休日における救急医療体制を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センター（R3.10まで）及び東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）を利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間及び休日における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センター（R3.10まで）、東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）の管理及び運営に要する職員人件費を補助する。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		222,671 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	222,671 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12	夜間休日応急診療事業特別会計
款	01	夜間休日応急診療事業費
項	01	夜間休日応急診療事業費
目	01	夜間休日応急診療事業費
細目	015	(公財) 東播臨海救急医療協会補助事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	170,288 千円	170,607 千円	222,671 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間及び休日における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、東はりま夜間休日応急診療センターを管理、運営する上で必要となる職員人件費を補助することは、医療提供体制の安定化のため行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	(公財)東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	420,801	418,681	416,672

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
東播臨海救急医療協会補助費	千円	170,288	170,607	202,215
活動指標分析結果	令和3年11月の東はりま夜間休日応急診療センターの開設にあわせて、休日の内科、小児科を定点診療で実施していることで人件費が増となり、前年度から増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	366	365	365	令和4年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センター（R3.10まで）及び東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）の診療を実施できたことで夜間及び休日における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から27年を経過しており、施設や医療機器の老朽化が進んでいる。また、患者ニーズも変化してきており、今後の歯科保健センターのあり方について、検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健協会に対し、加古川歯科保健センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	78,854千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	78,854千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13	歯科保健センター事業特別会計
款	01	歯科保健センター事業費
項	01	歯科保健センター事業費
目	01	歯科保健センター事業費
細目	010	歯科保健センター事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	78,451千円	75,466千円	78,854千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、また、加古川歯科保健センターの管理、運営については、高砂市、稲美町、播磨町から事務委託を加古川市は受けているため、事業の実施は妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口（10/1付住民基本台帳人口）	人	420,801	418,681	416,672

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歯科保健センター管理運営費	千円	78,452	75,466	78,854
活動指標分析結果	前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により診療制限を設ける措置などがあったため、管理運営費が減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
歯科保健センター休日診療日数	日	79	74	73	令和4年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	119	119	118	令和4年度	118
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図るために設立した加古川歯科保健センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	33,992千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	33,992千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	31,678千円	32,107千円	33,992千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である歯科保健センター事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円	88,348	87,057	89,945

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歯科保健センター事業特別会計繰出金	千円	31,678	32,107	33,992
活動指標分析結果	歯科保健センターの安定的な運営に寄与するために必要な繰出金を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	79	74	73	令和4年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	119	119	118	令和4年度	118
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	健康医療部
		課（室）名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療の充実
事業実施期間	昭和39年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日体制の運営を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	容態が悪くなった患者の二次（後送）救急医療体制を確保することで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	二次（後送）救急措置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の二次（後送）救急を円滑に行うため、関係医療機関に対し、二次救急医療の管理・運営に対する支援を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	33,688 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	11,034 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	22,654 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	34,229 千円	33,712 千円	33,688 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	二次救急医療体制の維持は必要不可欠なものであり、支援を行うことは、住民が安心して暮らす基盤整備につながることから、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	健康医療部
		課（室）名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口（10／1付住民基本台帳人口）	人	264,508	263,241	261,966

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内科及び外科の休日昼間二次救急当番医療機関数	機関	10	10	10
小児科二次救急当番医療機関数	機関	4	4	4
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院と西市民病院が統合して中央市民病院になって以降、両指標の当番医療機関数に変動はない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
内科及び外科の休日昼間二次救急診療待機日数	日	76	72	71	令和4年度	72
小児科二次救急診療待機日数	日	366	365	365	令和4年度	365
成果指標分析結果	1年を通して二次救急医療体制を確保できた。小児科二次救急体制については、4医療機関と少ないながらも365日の医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	二次救急医療事業（夜間休日応急診療事業会計）	部局名	健康医療部
		課（室）名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	昭和55年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日の輪番制を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	夜間帯における救急医療体制を確保し、住民の重症化の防止及び生命の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における二次救急の診療体制を確保するため、二次救急医療の管理・運営に対する費用の一部を負担する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	76,863千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	76,863千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12	夜間休日応急診療事業特別会計
款	01	夜間休日応急診療事業費
項	01	夜間休日応急診療事業費
目	01	夜間休日応急診療事業費
細目	010	夜間休日応急診療事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	76,426千円	76,782千円	76,863千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>夜間帯における二次救急医療体制を確保することは、必要不可欠なものであり、二次救急医療の管理、運営を支援することは、住民が安心して暮らす基盤整備につながることから、行政が行う事業として妥当なものとする。</p>

事務事業名	二次救急医療事業（夜間休日応急診療事業会計）	部局名	健康医療部
		課（室）名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	309,717	413,076	854,335

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内科及び外科の夜間二次救急当番医療機関数	機関	10	10	10
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院、西市民病院が統合して中央市民病院になって以降、当番医療機関数は10機関と変動はない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
内科及び外科の夜間二次救急診療待機日数	日	366	365	365	令和4年度	365
成果指標分析結果	1年を通して待機医療機関による輪番制を維持したことで二次（後送）救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間休日応急診療センター管理 運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	令和3年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	東はりま夜間休日応急診療センターの健全な運営を支援し、夜間及び休日における救急医療体制を確保する。
対象 ※誰、何に対して	東はりま夜間休日応急診療センターを利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間及び休日における一次救急を円滑に行なうため、東播臨海救急医療協会に対し、東はりま夜間休日応急診療センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	28,832千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	28,832千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12	夜間休日応急診療事業特別会計
款	01	夜間休日応急診療事業費
項	01	夜間休日応急診療事業費
目	01	夜間休日応急診療事業費
細目	010	夜間休日応急診療事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	28,832千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日昼間帯及び全日夜間帯における救急医療体制を確保することは必要不可欠なものである。また、東はりま夜間休日応急診療センターの管理、運営について、高砂市、稲美町、播磨町から事務委託を受けているため、本市での事業の実施は妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	夜間休日応急診療センター管理 運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	0	0	416,672

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間休日応急診療センター管理運営費	千円	0	0	28,832
活動指標分析結果	令和3年11月に東はりま夜間休日応急診療センターが開設しており、当該センターに係る令和3年11月以降の管理運営費が発生した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
東はりま夜間休日応急診療センター診療日数	日	0	0	151	令和4年度	365
成果指標分析結果	令和3年11月から東はりま夜間休日応急診療センターを開設し、夜間及び休日における救急医療体制を確保している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間休日応急診療事業特別会計 繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	昭和55年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。令和3年11月より東はりま夜間休日応急診療センターへ移転し、夜間帯の診療に加え、休日昼間の内科・小児科診療を当センターで定点実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センター（R3.10まで）及び東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）の健全な運営を支援し、夜間及び休日における救急医療体制を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センター（R3.10まで）及び東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）を利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	夜間及び休日における救急医療体制を確保するため、加古川夜間急病センター（R3.10まで）及び東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）の健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	187,284千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	187,284千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	101,184千円	139,165千円	187,284千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>夜間及び休日における救急医療体制を確保することは、必要不可欠なものであり、東はりま夜間休日応急診療センターの安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間休日応急診療事業特別会計 繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	309,717	413,076	806,482

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間急病医療事業特別会計繰出金	千円	101,184	139,165	187,284
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症の影響による患者の減少に伴い、診療報酬が減となり、繰出金が増額となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
夜間急病センター診療日数	日	366	365	214		0
東はりま夜間休日応急診療センター診療日数	日	0	0	151	令和4年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センター（R3.10まで）、東はりま夜間休日応急診療センター（R3.11から）の診療を実施できたことで夜間及び休日における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療の充実
事業実施期間	昭和55年度 ～ 令和3年度
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急を円滑に行うため、東播臨海救急医療協会に対し、加古川夜間急病センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	17,754 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	17,754 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間休日応急診療事業特別会計
款	01 夜間休日応急診療事業費
項	01 夜間休日応急診療事業費
目	01 夜間休日応急診療事業費
細目	010 夜間休日応急診療事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	38,642 千円	30,534 千円	17,754 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの管理、運営については、高砂市、稲美町、播磨町から事務委託を加古川市は受けているため、事業の実施は妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	420,801	418,681	416,672

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間急病センター管理運営費	千円	38,642	30,534	17,754
活動指標分析結果	定点化による移転を見据え、引き続き施設の修繕を最小限に留めた。また、夜間急病センターの管理運営は、令和3年10月で終了しているため、前年度より管理運営費が減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
夜間急病センター診療日数	日	366	365	214		0
成果指標分析結果	令和3年10月まで夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間急病センター解体撤去事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療の充実
事業実施期間	令和3年度 ～ 令和4年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	閉院した旧加古川夜間急病センターの建物等が残存している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	未利用物件の解消を図り、住民に衛生的で安全な環境を提供する。
対象 ※誰、何に対して	旧加古川夜間急病センター
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	旧加古川夜間急病センターの解体を行う。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		7,194 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	3,100 千円
	その他特財	4,094 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12	夜間休日応急診療事業特別会計
款	01	夜間休日応急診療事業費
項	01	夜間休日応急診療事業費
目	01	夜間休日応急診療事業費
細目	025	旧夜間急病センター解体撤去事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	7,194 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の解体が完了するまで、事業を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	夜間急病センター解体撤去事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
維持管理すべき施設数	棟	0	0	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設整備件数	箇所	0	0	1
活動指標分析結果	令和4年度からの解体工事着工に向けた解体設計を完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設整備済件数	箇所	0	0	0	令和4年度	1
成果指標分析結果	令和4年度からの解体工事着工に向けた解体設計を完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	一次救急医療定点化事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療の充実
事業実施期間	平成30年度 ~ 令和3年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	令和3年11月に東はりま夜間休日応急診療センターを開設にあわせて、休日の内科、小児科診療を定点で実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	(仮称) 休日・夜間急病センターにおいて、医療を安全に提供できる環境を整備する。
対象 ※誰、何に対して	東はりま夜間休日応急診療センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の休日・夜間帯における一次救急医療の定点化を図るため、新施設を整備する。また、老朽化著しい現・夜間急病センターの移転及び解体を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	628,096 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	600,100 千円
	その他特財	27,996 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間休日応急診療事業特別会計
款	01 夜間休日応急診療事業費
項	01 夜間休日応急診療事業費
目	01 夜間休日応急診療事業費
細目	020 一次救急医療定点化事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	22,863 千円	122,828 千円	628,096 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	休日昼間帯及び全日夜間帯における救急医療体制の充実は必要不可欠なものであり、東はりま夜間休日応急診療センターを令和3年11月に開設し、安心かつ安全な医療環境を整えることは行政が行う事業としては必要である。

事務事業名	一次救急医療定点化事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
休日・夜間急病センター施設整備費	千円	20,790	119,700	624,600
活動指標分析結果	東はりま夜間休日応急診療センターの施設整備費で、実施設計委託費及び新築工事費である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
整備率	%	3.49	37.64	100	令和4年度	100
成果指標分析結果	工期の遅れはなく計画的に進んだ。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療の充実
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から27年を経過しており、施設や医療機器の老朽化が進んでいる。また、患者ニーズも変化してきており、今後の歯科保健センターのあり方について、検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	4,814 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	4,814 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13	歯科保健センター事業特別会計
款	01	歯科保健センター事業費
項	01	歯科保健センター事業費
目	01	歯科保健センター事業費
細目	005	歯科保健センター施設整備事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	3,613 千円	5,323 千円	4,814 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歯科保健センター施設整備費	千円	3,613	5,323	4,814
活動指標分析結果	診療機器の更新については、順次行っているため、年度間での多寡がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	79	74	73	令和4年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	119	119	118	令和4年度	118
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					